

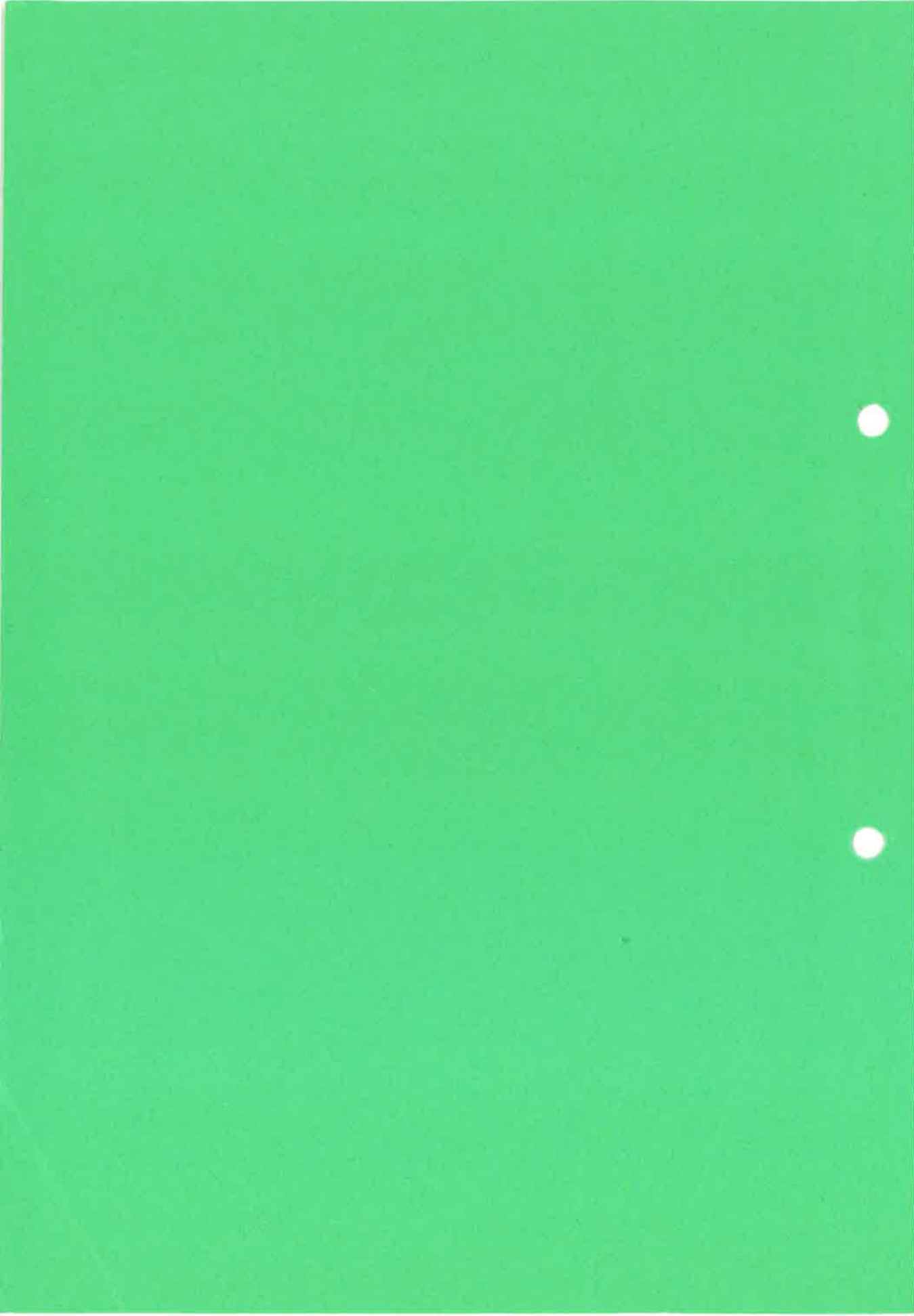
1992～93年

年 次 報 告

平成4～平成5年度



横浜緑ロータリークラブ





R.I 会長 クリフ・ダクターマン

第 2590 地区ガバナー 内 海 榮一郎

“親睦と奉仕”

横浜緑ロータリークラブ会長

遠 藤 真 作



目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	2
活 動 報 告 書	6
クラブ奉仕担当理事報告	12
出席委員会報告	14
職業分類委員会報告	17
親睦活動委員会報告	17
雑誌委員会報告	18
会報委員会報告	18
会員選考委員会報告	19
会員増強委員会報告	19
プログラム委員会報告	20
ロータリー情報委員会報告	23
広報委員会報告	23
S・A・A 報告	24
社会奉仕委員会報告	24
青少年奉仕委員会報告	25
青少年委員会報告	26
インターアクト委員会報告	26
ローターアクト委員会報告	27
職業奉仕委員会報告	27
国際奉仕委員会報告	28
世界社会奉仕委員会報告	29
ロータリー財団委員会報告	29
米山奨学委員会報告	31
会 計 報 告	33
横浜緑ロータリークラブ組織表	37
備 品 目 録	38
充填・未充填職業分類表	39

会 長 報 告

遠藤真作会長は、平成5年6月12日逝去されました。

会長報告は、削除致します。

幹 事 報 告

幹 事 日 高 信 良

副幹事 高 嶋 経 保

クラブの概況

名 称	横浜緑ロータリークラブ		
地 域	横浜市緑区	人 口	444, 844人
		世帯数	165, 865世帯 (6. 30日現在)
事 務 所	横浜市緑区中山町230	横浜銀行中山支店内	
例 会 場	同 上		
例 会 日	毎週水曜日	12:30～13:30	
創 立	昭和45年 2月28日	(スポンサークラブ 横浜港北 RC)	
	昭和45年 3月11日	RI の正式加盟承認	
		特別代表 山 崎 卯 一	
	昭和45年 12月13日	認証状伝達式	4クラブ合同
		(於 横浜市文化体育館)	
	昭和53年 5月27日	横浜田園 RC 創立総会	
		於 三井銀行青葉台支店	
		(移籍会員4名)	
	昭和52年 11月23日	桐蔭学園高校インターアクトクラブ	
		認証状伝達式挙行 (於 桐蔭学園)	
	昭和55年 11月23日	桐蔭学園高専ローターアクトクラブ	
		創立総会 (於 桐蔭学園)	
	昭和59年 3月27日	横浜たま RC 創立総会	
		於 和光証券 (移籍会員5名)	
	平成 3年 5月28日	新横浜 RC 創立総会	
		於 新横浜国際ホテル (移籍会員 0 名)	
付 記	所属地区は頭初第359地区、昭和49年7月第359地区より山梨県・静岡県を区域とする第362地区が分割され、当地区は神奈川県1県となりました。		
	昭和52年7月より RI の地区変更により第259地区となりました。		
	平成 3年 7月より RI の地区変更により第 2590 地区となりました。		

1. 会 員 (6月30日現在)

(1) 会員の種類

正 会 員 30名

シニア・アクチブ会員 14名

計44名 (内 チャーターメンバー 4名)

(2) 年 令

30才台～	2名	最高年令	74才
40才台～	6名	最低年令	39才
50才台～	16名	平 均	57.9才
60才台～	16名		
70才以上	4名		

現会員で当クラブ会員としての在籍数

1 年未満	2名		
1 ～ 3年	16名	平 均	9.25年
4 ～ 6年	4名		
7 ～ 9年	9名		
10年以上	13名		

2. 例会来客数

例 回 数 46回

来 客 数 ゲスト及ビジターの合計数 94名

(内ゲスト 46名)

月	例 会 数	ビジター	ゲスト	月	例 会 数	来客数・ゲ	ゲスト
7	5	6	2	1	4	3	3
8	3	5	0	2	4	3	6
9	4	3	3	3	4	7	5
10	4	4	6	4	4	4	2
11	4	3	3	5	3	0	5
12	3	0	8	6	4	10	3
小計	23	21	22	小計	23	27	24
例会数 46		ビジター 48	ゲスト 46	計94名		累計 3,265人	

〔入 会 者〕

齊 藤 清 紀 君	平成 4年12月16日	宗 教(仏 教)
堀 賀 雄 君	平成 5年 3月 3日	電信電話事業

〔退 会 者〕

幸 内 伸 雄 君	平成 4年10月 2日	逝	去
松 尾 一 伸 君	平成 5年 2月17日	転	勤
田 沼 文 衛 君	平成 5年 6月 4日	逝	去
遠 藤 真 作 君	平成 5年 6月12日	〃	

〔歴代会長・幹事及会員数,出席率〕

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24名	92.86%	45年6月迄
昭和45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24名	98.58%	
46～47	(秋 田 茂)	三 澤 君 夫	41名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	98.40%	
49～50	鵜 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60%	
52～53	三 澤 君 夫	岡 本 健	48名	98.82%	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18%	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11%	
58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名	97.86%	
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45名	96.31%	
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45名	96.27%	
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50名	97.83%	
62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51名	96.96%	

63～64(平成1)代々木	和 男	遠 藤 真 作	53名	95.65%
平成1～2	藪 島 五 郎	幸 田 伸 雄	47名	94.68%
〃 2～3	近 藤 襄	渡 辺 宏 未	51名	94.54%
〃 3～4	幸 内 伸 雄	横 井 好 明	50名	93.68%
〃 4～5	遠 藤 真 作	日 高 信 良	44名	92.1%

〔チャーターメンバー〕 現会員 4名

秋 田 茂	昭55. 2. 20死去	足 立 英 一	昭46. 9. 1退会
石 川 浩 道	昭52. 6. 30退会	麻 生 和 衛	昭54. 12. 26退会
岩 崎 董 正	昭57. 6. 30退会	藤 森 茂	昭47. 4. 5退会
小 林 安 雄		浜 田 淳太郎	昭48. 1. 31退会
小 峰 政 博	昭48. 10. 20退会 相模原南RCへ	細 辻 文 次	昭47. 6. 28退会
中 山 恒三郎	昭60. 4. 24退会	岩 本 正 三	昭63. 7. 11死去
柴 田 清	昭48. 4. 4退会	松 田 三 郎	昭47. 6. 7退会
鈴 木 憲 一	昭54. 9. 1死去	三 橋 英 一	平 4. 3. 21死去
土志田 昭 吉	昭54. 8. 29退会	名 倉 健 二	
岡 本 健		富 永 力	平 1. 12. 30退会
志 田 宝	昭47. 1. 29退会	鶴 川 昇	
高 橋 正 文	昭50. 6. 26退会	吉 田 晴太郎	昭48. 5. 2退会

〔本年度地区役員〕

鶴 川 昇 君	拡大カウンセラー
近 藤 襄 君	地区ロータリーボランティア活動委員会
田 中 克 己 君	〃 インターアクト委員会
高 嶋 経 保 君	青少年委員会

〔地区大会表彰〕 1992年10月17日～18日

長寿会員	1名	田 沼 文 衛 君 (明治41年7月19日生)
新ポールハリスフェロー	6名	日 高 信 良 君 金 子 朝 夫 君 齊 藤 宏 一 君 島 田 幸 夫 君 高 嶋 経 保 君 横 井 好 明 君
新米山功労者	2名	金 子 朝 夫 君 (故)幸 内 伸 雄 君

活 動 報 告 書

幹 事 日 高 信 良

副幹事 高 嶋 経 保

まず最初に下半期遠藤会長ご病氣療養中、会長代行をお願い致しました、横井副会長をはじめ、藪島、近藤、代々木各パスト会長には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

6/12残念乍ら遠藤会長は帰らぬ人となってしまわれましたが、あの豪快なそれでいて大変思いやりのある人柄は今でも忘れる事は出来ません。

50名体制を造り次年度理事、役員の皆様方へバトンタッチする年始の計画でありましたが、遠藤会長を始め、幸内会員、田辺会員のご逝去に伴う退会、松尾会員の転勤に依る退会等年度内4名の退会者、しかもその内3名の方が他界されると云う異常な1年でありました。

新入会員は12/16齊藤会員、3/3堀会員、の2名のみで残念乍ら年始を下まわる44名体制での次年度移行となってしまいました事、深くお詫び致す次第であります。

いずれにしても相変わらず吹き続ける不況風の中「ロータリーどころではない」と云うのが実感で新入会員の獲得に困難な時期であろうとは思いますが、次年度に期待する次第でございます。

下半期渡辺クラブ奉仕委員長のご尽力と会員皆様方のご協力を頂きまして、第三京浜の入口に立派な交通安全塔を建立し、4/6落成式を大内緑区長、野沢緑所長をはじめ多数の来賓のご参加の上挙行できました。設置委員会の皆様方本当に御苦勞様でした。

又、例年行っております福祉バザーを無事に終り、今年も肢体不自由児父母の会に10万円を寄贈出来ました。島田社会奉仕委員長をはじめ当日参加された会員の皆様及びご協力頂いたご家族の皆様に敬意を表するとともに、バザー用品を提供いただいた皆様方に心よりお礼申し上げます。

又、家族集会も先日近藤ロータリー情報委員長のお宅で行なわれ、例年にない多数の参加者であったと聞き及んであります。奥様をはじめ当日御協力頂いたご家族の皆様方に心よりお礼を申し上げる次第であります。

例会の出席率に就きましても、上半期93.5%下半期(5月末)92.81%と云う好結果で終える事が出来ました。中林出席委員長大変ご苦勞様でした。又ご協力頂いた会員の皆様方本当にありがとうございました。又46回の例会中ビジター38名、ゲスト43名でした。

又今年度は例年になくプログラムが充実していた様に思われます。出席率が前年度を上まわったのもそこに理由があるのかもしれませんが、森プログラム委員長の多才な手腕に敬意を表します。

又飯田会報委員長をはじめ委員の皆様方のご尽力で大変充実した週報を毎例会で皆様にご披露出来た事を感謝致します。

又青少年委員会の発案で緑区内の学校に対し善行生徒を募集、学校長の推せんを得て各々に表彰状及び記念品を贈呈致しました。小林青少年奉仕委員長及び市瀬青少年委員長大変ご苦労様でした。

国際奉仕委員会に於いては1年間の卓話を中心に国際奉仕委員会特集号を発刊されました。伊藤会員の「アメリカの文化」会田会員の「韓国の文化」呉 善花さんの「日本と韓国の比較文化」金 大原君と他2名の「韓国人留学生から見た日韓文化」等大変意義深い内容であったと思います。小杉国際奉仕委員長大変ご苦労様でした。

田中ロータリー財団委員長が大変ご苦労されて皆様に呼びかけておられました財団寄付金も結果的には7,400\$ (832,000円) となりまして会員1人当たり160\$の目標をクリア172\$と云う好結果に終わりました。皆様方のご協力に対し委員長共々感謝致す次第であります。

米山奨学委員会に就きましても今年度43万円と云う結果で、功労クラブの表彰を得ております。金子委員長大変ご苦労様でした。

今この時期、自民党の分裂、新党旗揚げ等7月総選挙に向ってかつてない程の混迷した政局でありますし、世の中の不況の風もまだまだおさまりそうにない昨今であります。皆様にはご自愛下さいまして、緑ロータリークラブの益々の発展のためにご尽力下さいます様お願い致します。本当に1年間ご協力有りがとうございました。

理 事 会 議 事 録

第1回理事会

7月1日(水) PM1:30

出席者 遠藤真作、名倉健二、横井好明、小杉 隆、
渡辺宏未、島田幸夫、日高信良、

決定事項

1. 年会費の納期 7月、10月
2. 年会費 260,000円
スマイル 40,000円
3. 7月29日の夜間例会
“浜太郎” PM6:00より
会費 8,000円
4. 次回のクラブアッセンブリー
7月22日(水) 例会終了後
当日欠席の方は代役を立てる事。

第2回理事会

8月 5日 13:30～2:00

議 題

1. 桐蔭学園甲子園出場決定に対するクラブよりの寄付金 30,000円
2. 肢体不自由児父母の会夏季研修旅行クラブよりの寄付金 200,000円
3. 新入会員候補者選考基準の活用
1部訂正 → 印刷 (100部)
4. 交通安全の広告塔の件
見積り待ち
5. プレザーの件
見積書を添えて会員に回覧し、以後決定
6. 緑R.Cゴルフ同好会の件
10月29日、相模原ゴルフクラブにて

第3回理事会

9月2日 13時35～14:05

出席者 遠藤真作、小杉 隆、島田幸夫、横井好明、
渡辺宏未、名倉健二、各理事
日高信良、井上周輔

議 事

1. 交換留学生・メリッサの修学旅行に対する援助金、学校へ納入分60,000、本人への交付金50,000、計110,000とする。
2. G.S.E.チーム受入について
当クラブにて1名受入れる。9月30日～10月4日まで
宿泊先は新横浜国際ホテルとする。
3. 金子会員 病気のため、三週間出席免除する。

第4回理事会

10月7日 例会終了後

出席者 遠藤真作、渡辺宏未、島田幸夫、小林 敬、
小杉 隆、名倉健二、横井好明、
代々木 和 男(特別参加)、日高信良

決定事項

- (イ) 幸内前会長社葬の件
 - ・当クラブより花輪贈呈
 - ・香典は全員一律
 - ・受付は代々木会員、日高幹事
- (ロ) 飯田重雄会員より診断書
10月7日～11月11日 6週間の出席免除を認める。
- (ハ) 会報委員補填の件
会長、幹事 一任
- (ニ) 交換留学生 メリッサ・リー・フロストの件
11・12月の2ヶ月間横浜あざみのRCにホストファミリー変更
(諸費用の負担)
 - (1) ホストファミリー滞在費 月 3万円 (緑RC)
 - (2) 本人への小遣 月1.5万円 (緑RC)
 - (3) その他費用 (あざみのRC、ホストファミリー)

第5回理事会

1月13日 例会終了後

決 定 事 項

- 次年度委員長の承認
- 交通安全塔の問題
実施時期・予算等検討
- 第1回クラブアッセンブリー

2月3日 6:00 於浜太郎

臨時理事会

2月24日 例会終了後

出 席 者 横 井 好 明、 渡 辺 宏 未、 名 倉 健 二、 小 林 敬、
小 杉 隆、 (藪 島、日 高)

議 題

- イ. 堀 賀雄氏の入会承認
- ロ. 遠藤会長手術に伴い会長代行者決定の件
- ハ. 交通安全塔の件
4月6日付除幕式を前提に既に着工している。
- ニ. 中国向ポリオ・ワクチン代支援の件
会員1人当たり2,000円に決定次回例会時集金する。

第6回理事会

3月3日 例会終了後

出 席 者 横 井 好 明、 小 杉 隆、 渡 辺 宏 未、 島 田 幸 夫、
(近 藤、藪 島、日 高)

議 題

1. 会長代行者決定の件
3月度横井副会長代行し、4月以降はバスト会長より選任する。
2. 会場移転準備委員会新設の件
準備積立金を来期より開始予定
3. 交通安全塔修被式ご案内の件

第7回理事会

4月21日 例会終了後

出席者 名倉健二、島田幸夫、小杉隆、藪島五郎、
小林敬、日高信良

議 題

1. 小杉国際奉仕委員長より
国際奉仕委員会特集号の発行に際し印刷代金10万円（150部）承認
1. 交通安全塔建設資金の件
広報委員会、社会奉仕委員会の共同事業とする。
スマイル資金からの捻出を前提にし残金を会員負担とする事を検討中。
1. 藪島会長代理より
米山留学生（陳^{チェン}伯彰^{ボウシャウ}）のカウンセラー、森（善）会員に依頼承諾を得る。

第11回理事会

5月

第12回理事会

6月

クラブ奉仕担当理事報告

担当理事 渡 辺 宏 未

副委員長 横 井 好 明

委 員 代々木 和 男

平成4年の後半と平成5年の前半は、バブル経済の崩壊後、不況の時代であり、また、金丸議員の不正献金着用による政治不信の一年でありました。市場最低の2.5%の公定歩合は設定したものの、依然と明るさを取り戻せないどん底の社会経済情勢にあります。証券市場のやや値上がり、円高が明るい素材になれば良いのですが、先行不安が続く年でありました。これらの社会情勢下にあって数多くの参加、本当にありがとうございました。

まず、クラブ全体のムードとイメージアップを旨として、制服の作成と交通安全塔の設置がありました。制服につきましては、紺のブレザーにグレーのズボンを青木インターナショナルに安価で作成して戴き、エンブレムは松田会員のお骨折りで良いものが出来ました。交通安全塔につきましては、第一番目の主旨は表に向かってのPRにありました。子クラブとしての新横浜クラブと共同で行った事業ですが、新横浜クラブの会員の減少、これは、当クラブでも同じですがロータリークラブの活動を宣伝することになったわけです。場所については道路局にお願いし、後の管理については警察にお願いするという事で、安全運転管理者会に引継ぎを致しました。440万円という多額の金額ですが、それ以上の効果のある事業だったと思います。

例会に於けるプログラムにつきましては、地域を良く知ろうという目的で森實委員長が一生懸命やって戴きました。7/15大内緑区長、8/12前川緑消防署長、10/28高秀市長婦人、12/9鈴木区政部長、2/24緑税務署長、3/17横浜市道路建設課長等と、緑区内実情と行政のトップの方々との面識を深めました。国会議員候補者による国会についての話を10/21加藤尚彦市議、1/13鈴木恒雄国会議員、5/19小此木八郎氏から聞くことができました。印象に残る卓話としては、1/20伊藤議員による「銀行の窓口からみた景気」、小杉会員紹介による呉 善花先生による「韓国人からみた日本人」等があります。

クラブアッセンブリーは、7/8、9/9、11/4（公式訪問）と年度前の2月、4月、6月に行って居ますので都合6回行いました。

親睦委員会の主なる事業は、12/16クリスマス家族会をグレイスホテルで、4/14クラブ会員健康祈願及び観桜家族会を5/26箱根湯本「かじか荘」で行い、翌日箱根カントリーで親睦ゴルフコンペを開催しました。

雑誌委員会につきましては、8/22～8/23の夏季研修ボランティアの写真と文章を11月号の「ロータリーの友」に大きく掲載させて戴きました4/6の交通安全塔の除幕式の写真と文章は7月号の

ロータリーの友」に掲載される予定です。毎月遠藤一典委員長は、一回「ロータリーの友」についての紹介を書評されて居ります。大変好評であります。

広報委員会については、会長、幹事広告をみどり新聞と朝日エコーに掲載し、また、4/6の除幕式については4/7付の毎日新聞と神奈川新聞に掲載されました。

出席につきましては、常に90%台を確保出来ました。委員長である中林パスト会長の人柄と努力の賜物と思います。

家族集会は、5/22近藤委員長の自宅で行われ25名の出席をみました。会員増強につきましては、時節柄非常に困難を極め、フォーラムにて、会員に対して啓蒙し活動を行ったのですが、実質的に年度内増はありませんでした。来期は1会員が1名推薦するという形で運動を繰り広げる予定です。

SAAについては、皆様が常に感じて居られる様に明るい会場の雰囲気があり、出席率向上に貢献致しました。

出席委員会報告

委員長 中 林 靖

副委員長 夏 目 一 夫

委 員 小 林 敬

- (1) ホームクラブ出席率100%は前期(6ヶ月)遠藤(一)、日高会員の2名が達成され記念品を贈りました。後期はありませんでした。
- (2) 地区大会、LMに積極的に参加する様に特に新会員に出席を呼びかけました。
- (3) ロータリーの友(1992年12月号16頁)のロータリー問答「100%皆出席の加算方法」を参考にし、100%年度の累計を表に加えました。

本年度100% 出席会員及び100%出席年度数は下記の通りです。

○・・・本年度100% ◎・・・ホームクラブ100%(なし)

	本 年 度	連続年度	累計年度数		本 年 度	連続年度	累計年度数
会 田			0	森(善)			16
土 志 田			1	長 沼			0
遠藤(一)	○	3	3	名 倉			13
遠藤(真)			9	中 林	○	20	20
藤 津			0	夏 目			0
日 高	○	1	3	岡 本			18
堀 井			0	斉藤(宏)			5
飯 田			3	関 口			0
市 瀬	○	2	2	島 田			2
井 上	○	2	2	高 嶋			3
伊 藤			0	田中(克)			5
金 子			2	田中(亮)			0
加 藤			0	田 沼			11
小林(新)	○	1	3	内 野	○	6	16
小林(敬)			4	鶴 川	○	23	23
小林(安)			17	脇 田	○	3	3
幸 内			6	渡 辺	○	5	7
近 藤	○	9	11	藪 島			8
小 杉			5	矢 島			0
黒 沼			0	山 下			18
松 尾			0	横 井	○	2	3
松 田			0	代々木			13
三 澤	○	19	22+4=26	斉藤(清)			0
森(實)			1	堀			0

1992	1	2	3	4	5
	例 会 日 付	会 員 総 数 (名誉会員を除く)	出 席 計 算 に 用 いた 会 員 数	出 席 また は メ ー ク ア ッ プ し た 会 員 数	百 分 率
7月	1	46	34	33	97.05
	8	46	34	30	88.2
	15	46	34	31	91.7
	22	46	34	32	94.1
	29	46	34	34	100
				合 計	472.5
				平均百分率	94.5
8月	5	46	34	33	97.05
	12	46	34	29	85.3
	26	46	34	32	94.3
				合 計	276.6
				平均百分率	92.2
9月	2	46	34	32	94.1
	9	46	34	30	88.2
	16	46	34	31	92
	30	46	34	33	97.7
				合 計	372
				平均百分率	93
10月	7	45	33	31	94
	14	45	33	33	100
	21	45	33	33	100
	28	45	33	33	100
				合 計	394
				平均百分率	98.5
11月	4	45	33	33	100
	11	45	33	29	87.8
	18	45	33	28	85
	25	45	33	32	96.4
				合 計	369.2
				平均百分率	92.3
12月	2	45	33	30	91
	9	45	33	30	91
	16	46	34	31	91
				合 計	273
				平均百分率	91

1993	1	2	3	4	5
	例 会 日 付	会 員 総 数 (名誉会員を除く)	出 席 計 算 に 用 いた 会 員 数	出 席 また は メ ー ク ア ヱ ッ プ し た 会 員 数	百 分 率
1月	6	46	34	28	82.4
	13	46	34	31	91.2
	20	46	34	32	94.1
	27	46	34	32	95.1
				合 計	362.8
				平均百分率	90.7
2月	3	46	34	32	94.1
	10	46	34	31	91.1
	17	45	33	33	100
	24	45	33	33	100
				合 計	385.2
				平均百分率	96.3
3月	3	45	33	29	87.8
	10	46	34	30	88.2
	17	46	34	32	94
	24	46	34	32	94
				合 計	364
				平均百分率	91
4月	7	46	34	32	94.2
	14	46	34	34	100
	21	46	34	27	80.4
	28	46	34	31	91.2
				合 計	365.8
				平均百分率	91.45
5月	12	46	34	31	91.2
	19	46	34	30	88.2
	26	46	34	32	94.08
				合 計	273.48
				平均百分率	91.16
6月	2	46	34	30	90.9
	16	44	33	32	96.9
	23	44	33	27	81.8
	30	44	33	32	96.9
				合 計	366.5
				平均百分率	91.7
年 平 均					92.81%

職業分類委員会報告

委員長 岡本 健
副委員長 中林 靖
委員 山下 栄蔵

現状の職業分類上、未充填となっている分類に積極的に充填した。

親睦活動委員会報告

委員長 脇田 幸一
副委員長 土志田 猛
委員 藤津 均 堀 賀雄 黒沼 正雄
齊藤 清紀 関口 将実 高嶋 経保

平成4年 7月29日(水) 夜間例会 於て「浜太郎」 参加者22名
平成4年 9月30日(水) 夜間例会 於て「浜太郎」 参加者19名
平成4年 12月16日(水) クリスマス家族パーティー グレイス・ホテル 7階「貴蝶」
参加者 会員 32名、令夫人 15名、御家族 5名
平成5年 4月14日(水) 春の家族会 伊勢山皇大神宮参詣、厄除け祈願と「桜を楽しむ会」
参加者 会員 25名、令夫人 9名、お子様 2名
平成5年 5月26日(水)～27日(木)
期末懇親会 箱根湯本「河鹿荘」ホテル、箱根カントリークラブ
参加者 第1日 懇親会 29名
第2日 ゴルフコンペ 16名
平成5年 6月30日 夜間例会 於て「浜太郎」 参加者31名

本年度は新規入会の会員が少なく、ご不例による退会があったにも関わらず、いずれの会にも多数の会員の出席があった。

雑誌委員会報告

委員長 遠藤 一 典

副委員長 会 田 瞭 三

委 員 関 口 将 実

1. 雑誌の重要なポイントをピックアップして説明すると同時に、関心度を高めるために、積極的に誌上参加をうながし、卓話を通してロータリーへの関心と認識を高めることにつとめた。
2. 雑誌「友」の月間ポイントを強調することにより、RIの活動や各地区活動を紹介し、ロータリー活動の現況を知ることにつとめた。
3. 雑誌「友」の今年次（7月以降～4月まで）の主なポイントをまとめ、ロータリー活動の動きをふりかえり、購読意欲の増大につとめた。

会報委員会報告

委員長 飯 田 重 雄

副委員長 夏 目 一 夫

委 員 黒 沼 正 雄

クラブ会報はクラブにとって重要な部門であります。

1. 編集は委員全員が協力して行うことに努力した。
2. 定期的な記事は漏らさず記事にするようにした。
3. プログラム委員と連絡をとり、予定を出来るだけ記録した。
4. 近隣クラブと会報の交換を実施し、情報の収集を図った。
5. 会報を会員の発言の場として利用されるようにした。

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委 員 長 (幸 内 伸 雄)

(平成4年10月2日逝去)

副委員長 藪 島 五 郎

委 員 内 野 晃

〃 鵜 川 昇

本年度2名の入会候補者を職業分類委員会、会員増強委員会、推薦者をまじえて十分協議し、当クラブの「新会員選考基準」により審査しロータリアンとしての適正ありと認めたので入会了承の上申を行った。

会 員 増 強 委 員 会 報 告

委 員 長 森 善 助

副委員長 三 澤 君 夫

委 員 小 林 安 雄

〃 代々木 和 男

ロータリークラブ会員はいろいろな条件に適合しなければなりません。毎週一回の例会に出席すること、その時間が充す人でなければなりません。又、会員についてもあるいは諸行事に参加することも大切なことであります。経済界の低迷するいまは会員増強は大変なことであります。本年度は一応目標をかかげましたが幸内前会長田沼元会長そして本年度末には遠藤現会長のご逝去があり誠に当クラブにとっては悲しいことがありました。ここに深く御冥福をお祈り申し上げます。

入会、転勤等もありましたが次年度の委員会の活躍を期待いたします。

プログラム委員会報告

委員長	森	實
副委員長	小	林 新 一
委 員	加	藤 喜 夫
〃	矢	島 誠 治

われわれ委員会は ①地域社会に貢献し、奉仕する ②国際理解に関心の強いクラブを目指す——
二つの目標を掲げてプログラムの作成に当たってきました。

このため年間プログラム表を数次に亘って改定、当初の目的達成に努めました。別掲プログラム表
に見るように、広く緑区の行政責任者の卓話をいただき、国際理解のための数々の企画が実現しまし
た。

このようにわれわれ委員会の意図が叶えられたのは、クラブ奉仕委員長をはじめ各役員、委員長の
密接なご協力、ご教示によるものです。深く感謝いたします。

1992～1993年度（平成4年度～5年度）

水曜日例会

	クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー	
月 週	平成4年7月	8月	9月	10月	11月	12月
第一週	1日（先勝） 遠藤新会長 日高新幹事 就任あいさつ 定例理事会	5日（先勝） 会員増強 フォーラム 森善助委員長 （協力：職業分類、 会員選考、会員増強） 定例理事会	2日（先勝） 社会奉仕 フォーラム 島田委員長 近藤、齊藤、 山下会員 定例理事会	7日（友引） 米山月間 金子委員長 森（善）会員 米山奨学生 李 氏 定例理事会	4日（先勝） ガバナー 公式訪問 クラブアッセンブリー （上半期のまとめ）	2日（先勝） 卓話 ローターアクト インターアクト 大会報告 田中（亮）、 遠藤（一）会員 年次総会 定例理事会
第二週	8日（友引） 新年度計画 四大奉仕委員長	12日（友引） 卓 話 前川消防署長 （紹介＝ 渡辺理事）	9日（友引） 卓 話 PKOについて 自衛隊 横浜地区隊長 クラブアッセンブリー （年内の計画）	14日（先負） 卓 話 職業奉仕月間に 当って 名倉委員長	11日（友引） ロータリー 財団月間 フォーラム 田中（克）委員長 定例理事会	9日（先負） 卓 話 緑区の近況 鈴木区政部長
第三週	15日（先負） 卓話大内緑区長 （紹介＝ 渡辺理事）	19日（先負） （夏休み）	16日（先負） 青少年活動月間 について フォーラム 小林敬委員長	21日（仏滅） 卓話 アジアと横浜 加藤市議員 （紹介＝ 山下会員）	18日（先負） 移動例会 職場見学 日産自動車座間 工場	16日（先負） クリスマス 家族会 グレイスホテル （新横浜）
第四週	22日（仏滅） クラブ奉仕 フォーラム 渡辺担当理事 中林、脇田、飯 田、森（實）、 近藤会員 クラブアッセンブリー	26日（仏滅） 国際奉仕 フォーラム 小杉委員長 会田、伊藤会員	23日（仏滅） 秋分の日 （休）	28日（赤口） 卓 話 高秀横浜 市長夫人 （紹介＝ 山下会員）	25日（赤口） 職業奉仕 フォーラム 名倉委員長	23日（仏滅） 天皇誕生日 （休）
第五週	29日（大安） 夜間例会		30日（先勝） 夜間例会			30日（赤口） 年末 （休）
年間行事		会員増強および 拡大月間 福祉 ボランティア	青少年活動月間	米山月間 職業奉仕月間 地区大会 （17、18日）	ロータリー財団 月間 インターアクト 年次大会 ローターアクト 年次大会	

横浜緑RC年間プログラム表

	クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー		クラブアッセンブリー	
月 週	平成5年1月	2月	3月	4月	5月	6月
第一週	6日(先勝) 新年の挨拶 遠藤会長 日高幹事 定例理事会	3日(赤口) 世界理解月間 韓国文化 呉善花先生 (紹介=小杉会員) 定例理事会	3日(赤口) 卓話 留学生 リレースピーチ (3人) (紹介=小杉理事) 定例理事会	7日(赤口) 雑誌月間 について 遠藤(一)委員長 定例理事会	5日(仏滅) 子供の日 (休)	2日(仏滅) 一年を省みて ①渡辺クラブ奉仕担当理事 ②島田社会奉仕委員長 定例理事会
第二週	13日(友引) 卓話 「ことしの政局」 鈴木衆議院議員 (紹介=渡辺理事)	10日(先勝) 新年会 夜間例会	10日(先勝) 卓話 中小企業の現況 関山氏 (紹介=山下会員) クラブアッセンブリー 下半期活動状況	14日(先勝) 家族会 16:30 伊勢山皇大 神宮参拝 17:30 開洋亭	12日(大安) 卓話 苦勞多い小規模商業 横浜商議所 鈴木・緑支所長 (紹介=山下会員) 定例理事会	9日(大安) 皇太子ご成婚 (休)
第三週	20日(先負) 卓話 「銀行の窓口からみた景気」 伊藤通宏会員 クラブアッセンブリー	17日(友引) RI創立記念日 (23日;'83) 卓話 近藤情報委員長	17日(友引) 卓話 横浜市の道路計画 市道路局 (紹介=渡辺理事)	21日(友引) 卓話 私の職業 斉藤(清)会員 堀会員 (各15分)	19日(赤口) 卓話 ロシアの現状 小此木八郎氏 (紹介=小林(新)会員) クラブアッセンブリー	16日(赤口) 一年を省みて ③名倉職業奉仕委員長 ④小杉国際奉仕委員長
第四週	27日(大安) 卓話 四つのテスト 馬場謙介氏 (紹介=藤津会員)	24日(大安) 卓話 緑税務署長 (紹介=三沢会員)	24日(仏滅) 卓話 ベトナムの現状 山岡事務局長 (紹介=横井副会長)	28日(先負) 次年度計画について 会長エレクト 横井副会長	26日(先負) 期末懇親会 箱根湯本 「かじか荘」	23日(友引) 会期終了挨拶 横井副会長 日高幹事
第五週			31日(大安) (休)	22日(木) 新横浜RC合同ゴルフ 30日(金) 懇親ゴルフ以上 横浜CC	27日(木) 懇親ゴルフ 箱根C.C	30日(先負) 夜間例会
年間行事	ロータリー 理解推進月間	ロータリー 創立記念日 クラブ創立記念日 世界理解月間 IM(第3,4分区)		雑誌月間 福祉バザー	地区協議会	国際大会

ロータリー情報委員会報告

委員長 近 藤 襄

副委員長 (田 沼 文 衛)

委 員 (幸 内 伸 雄)

ロータリーのすばらしい活動を遂行し、息の長いロータリアンを維持するためには、ロータリーの正しい知識を学び、理解し、身につけることが大切です。

ロータリー情報委員会は、この精神のもと次の活動を実行いたしました。

1. 毎月第1例会日に会員交替でロータリーの基本的且つ遵守すべき掟を中心に話して頂き特に入会して日の浅い会員の勉強の場としました。
2. 家族集会を私宅で開き、多数会員出席のもと楽しい勉強会を行いました。
3. 地区、分区主催の公式行事に会員の出席を勧誘しました。

広 報 委 員 会 報 告

委員長 松 尾 一 伸

副委員長 (田 沼 文 衛)

委 員 代々木 和 男

1. 地域社会の人々に、緑ロータリークラブが行う社会奉仕活動や地域文化の貢献の状況等を広く知って頂くよう、地元の新聞などを通じて広報を行った。
2. ロータリークラブの広報活動のあり方について、他クラブとの情報交換を行うなどして、勉強を行った。
3. 第三京浜入口交通安全塔を建設した。

S. A. A. 報 告

S A A 井 上 周 輔

副SAA 松 尾 一 伸

副SAA 藤 津 均

品位あるクラブ例会を明るく楽しい雰囲気での運営に努めて参りました。

- (1) 開会の点鐘より閉会の点鐘まで円滑に進行することが出来ました。
- (2) 各委員会活動の円滑化を期するため、毎月第一例会日に委員会ごとのテーブルを設置しましたが、出席、欠席の確認が出来ず且委員会構成が重複となっておりますので70%の成果でした。
- (3) 例会中の禁煙は継続させていただきました。
- (4) 3分間スピーチは近藤ロータリー情報委員長の御指導のもとにロータリー活動に対する勉強の成果をテーマとして有効なスピーチが行われました。
- (5) 会長、幹事、各報告及び卓話と特別報告以外の発言は自席で行いました。
- (6) ニコニコ、ニガニガの完全実施に御協力いただき有り難うございました。
- (7) 毎月第一例会日に名倉職業奉仕委員長をリーダーに四つのテストを唱和しました。

社会奉仕委員会報告

委員長 島 田 幸 夫

副委員長 森 善 助

委 員 小 林 新 一

齊 藤 宏 一

地区のRの社会奉仕委員会と云うのは地域の人にRを認識して貰うと云う使命がございます。そこで今年度の社会奉仕活動計画を下記の様に計画致しました。

- ① 福祉対策として、肢体不自由児父母の会への援助
- ② 福祉バザーの開催。
- ③ 環境保全対策として鶴見川河川敷に標識を立てる。

今年度の社会奉仕活動は、

- 8月27日28日肢体不自由児父母の会の一泊旅行が鬼怒川温泉で行われました。Rクラブから三名参

加して頂き無事に事故もなく終る事が出来ました。

参加会員は渡辺宏未会員、斉藤宏一会員、藤津会員の三名でございました。

- 9月のフォーラムの時Rの社会奉仕を知って貰うために近藤会員には「決議23-34」について、山下会員には「Rの社会奉仕と一般の社会奉仕の違いについて」斉藤宏一会員には「Rの社会奉仕全般について」のお話をして頂きました。
- 11月の赤い羽根募金は全会員から500円御寄附頂きました。これはニコニコから出させて頂きました。4月の福祉バザーの時は全会員にバザーの提供品を御持参頂きました。

4月11日日曜日横浜銀行の駐車場をお借りして行いました。当日は晴天に恵まれ人の出足も好調で午前中に完売する事が出来ました。

当日の売上金は147,000円でございました。参加頂いた会員は、渡辺宏未会員御夫妻、加藤会員御夫妻、小林会員御夫妻、斉藤宏一会員、藪島会員、横井会長御夫妻、私共夫婦、それに瀬島さんの13名でした。バザーの提供品御持参願えなかった会員から5,000円の御寄付を頂きました。11名の方です。福祉バザーの売上金147,000円+55,000円計20万2,000円でした。

10万円也を肢体不自由児父母の会へ寄付。

社会奉仕委員会から交通安全塔に30万円を寄付致しました。

30万の内訳	{	10万2,000円 - 福祉バザーの売上金の残金
		19万8,000円 - 社会奉仕活動資金の一部
		今年度予算 30万円

以 上

青少年奉仕委員会報告

委員長	小林 敬
副委員長	藪 島 五 郎

1. 地域の青少年団とその活動実態を調査して、活動に対して物心両面に援助を行う。

青少年委員会と協同して、地域の小中学校で他に模範となる奉仕活動を実施している生徒を表彰した。

2. RYRA（ロータリー青少年指導養成プログラム）

第16回青少年指導者養成セミナーに参加して研修しました。

RYLA・・・竹谷 清 飯田 良徳

会 員・・・飯田 重雄 小林 敬

3. 桐蔭学園高等学校インターアクトクラブ、横浜大学ローターアクトクラブの活動について援助する。
インターアクト・ローターアクト委員会と協力して援助した。

青 少 年 委 員 会 報 告

委員長 市 瀬 栄 一

副委員長 矢 島 誠 治

委 員 中 林 靖

横浜市緑区内の小中学校に対して校内外で善行や奉仕活動をしている生徒を推薦していただくように各校長宛に「優良生徒推薦依頼」を出しましたその結果、美しが丘、十日市場、緑が丘3校の中学より5名小学校では山下小学校より1名の合計6名の推薦がありました。

全員に対して表彰状と図書券（10,000円）を授与しました。

反省としては既に卒業式の終わったあとであった為、「こんなすばらしいことであれば卒業式の行事の中へ組み入れるべきだ」と数人の校長から云われました。

イ ン タ ー ア ク ト 委 員 会 報 告

委員長 黒 沼 正 雄

副委員長 井 上 周 輔

青少年育成の問題は近年、重要かつ深刻な問題の一つとなっている。

青少年に接触することによって、青少年をとりまく環境について考え、指導し健全な育成につとめた。

1. インターアクトの活動計画について理解し、全面的に協力した。
2. 定例会に多くのロータリアンの出席を奨励した。
3. 年次大会、インターアクト、地区協議会等にロータリアンの出席をお願いし青少年の健全育成に協力した。

ローターアクト委員会報告

委員長 田 中 亮 二
副委員長 関 口 将 実
委 員 松 田 税

1. ローターアクトのクラブ活動にできる限り積極的に協力するよう努力した。
2. 学校側とのつながりを強め、学生が積極的に活動できるよう努めた。
3. ローターアクト研修会、地区大会、地区協議会等へ出席した。
4. 学生のローターアクターばかりなので活動期間が限られるため、参加協力できない活動もあったが、学生らは熱心に活動した。
5. 本年は大学に学部が増し、ローターアクターの増加が見られた。

職業奉仕委員会報告

委員長 名 倉 健 二
副委員長 会 田 瞭 三
委 員 夏 目 一 夫

ロータリーの全看板である職業奉仕を根幹として、ロータリアンが、その職能や人生経験を、地域社会や国際社会で遺憾なく発揮するよう、奉仕の活力の昂揚を図ることが、当委員会の使命と考え、次の通り活動計画を実施した。

1. アンケート調査とクラブ・フォーラム

「ノータリアン」とはロータリーを卑下した言葉と取るなかれ、「能他利人」と解すべきである。即ち職能を生かして他人のためになる。これが「ノータリアン」である。

フォーラムでは、職業と職能について活発な論陣を張り、職業奉仕活動の実践に一石を投じた。

2. 四ッのテスト

① 毎月、第一例会で唱和

② 「四ッのテスト考」と題する卓話を他クラブのロータリアンから拝聴した。卓話者は原文の解説もまじえて、「みなのため」とはロータリアンのprofitであると結論づけ、有益な卓話であった。

3. 職場見学会

日産自動車座間工場の先端技術を見た。ロボットを駆使したマス・プロは、品質の良い安価な車を提供する。これこそ、四ッのテスト④のみなのためと心得る。

国際奉仕委員会報告

委員長 小 杉 隆

副委員長 高 嶋 経 保

委 員 脇 田 幸 一

異文化の理解と認識を主なテーマとした、当年度の国際奉仕委員会の活動の概略を下記の如く報告致します。

1. 異文化の理解と認識のために……

- 1) 韓国ノンフィクション作家の呉 善花氏を招き、比較文化論的な視点から『日本と韓国の文化の違い』と題して卓話を頂いた。
- 2) 伊藤会員のアメリカ、会田会員の韓国、それぞれの在留体験を通じての文化の紹介。
- 3) 韓国人留学生の在日体験からみた、日韓文化比較を金 大原・河 賢権・李 仁淑の三君によるリリーススピーチを行った。
- 4) 文化理解を主題とした会報特集号の発刊。

2. 国際援助のために……

- 1) ボスニア・クロアチアへの救援金の実施
1人当たり 400円
- 2) 第2回日中学術交流団による歯科医療奉仕活動への協力
1人当たり 1,000円
- 3) 神奈川県日中友好協会の中国人日本語教師短期招聘に対する援助
1人当たり 500円
- 4) 中国向けポリオ・ワクチン代支援
1人当たり 2,000円
- 5) バングラディッシュ小学校建設の支援
1人当たり 400円
- 6) フィリッピン ハンセン氏病対策への義援
1人当たり 500円

世界社会奉仕委員会報告

委員長 松田 税

副委員長 三澤 君夫

発足当時掲げた目標に沿って、微力ながら努力を重ねて参りましたが、地球環境の問題、開発途上国の問題など、グローバルなテーマは、直ちに効果の見えるものではなく、継続的な地道な努力こそが必要と思われます。

特に地球環境の問題については、今年の世界的な異常気象状況にみられるように、ますます国境を越えた研究と理解と協調が必要になってくると考えられます。

次期委員会での継続的なご努力を期待します。

ロータリー財団委員会報告

委員長 田中 克己

副委員長 小杉 隆

- ① 会員各自にロータリー財団の資金活動の流れを把握して頂くため、シェアシステムの説明。
- ② 新基金設置に伴う、ベネファクター取得の必要性を呼び掛ける。
- ③ 年度による募金の平均化を計る方法として原則として1名200\$／年募金のお願い
(募金方法のマニュアルとして)
- ④ 当クラブの推薦により羽石英里姉がロータリー財団奨学生としてその候補者として選出された。
- ⑤ 今年度、準フェローになられた会員が2名、準フェローからフェローになられた会員が2名おりました
現会員のポールハリスフェローは23名 準フェローは29名です。

◎ポールハリスフェロー

現 会 員 (敬称略)

- | | | |
|-----------------|------------------|-------------|
| 1. 土志田 猛 | 9. 内 野 晃 | 17. 金 子 朝 夫 |
| 2. 小 林 安 雄 | 10. 鶴 川 昇(マルチプル) | 18. 斎 藤 宏 一 |
| 3. 近 藤 襄(マルチプル) | 11. 渡 辺 宏 未 | 19. 島 田 幸 夫 |
| 4. 三 澤 君 夫 | 12. 藪 島 五 郎 | 20. 高 嶋 経 保 |
| 5. 森 善 助 | 13. 矢 島 誠 治 | 21. 横 井 好 明 |
| 6. 名 倉 健 二 | 14. 山 下 栄 蔵 | 22. 脇 田 幸 一 |
| 7. 中 林 靖 | 15. 代々木 和 男 | 23. 松 田 税 |
| 8. 岡 本 健 | 16. 日 高 信 良 | |

元会員並会員外

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 土志田 昭 吉 殿 | 14. 山 口 吉 蔵 殿 | 27. 中 村 彰 宏 殿 |
| 2. 黒 沢 保 殿 | 15. 中 山 恒三郎 殿 | 28. 和 田 功 殿 |
| 3. 武 藤 勝 典 殿 | 16. 鈴 木 憲 一 殿 | 29. 城 田 昭 次 殿 |
| 4. 戸 田 修 殿 | 17. 森 玉 江 殿 | 30. 赤 柄 忠 昭 殿 |
| 5. 岩 本 正 三 殿 | 18. 武 藤 純 子 殿 | 31. 加 藤 勇 夫 殿 |
| 6. 高 橋 正 文 殿 | 19. 岩 崎 董 正 殿 | 32. 小 林 はま子 殿 |
| 7. 武 藤 松 一 殿 | 20. 浜 田 勝 弥 殿 | 33. 鶴 川 楊 子 殿 |
| 8. 武 藤 義 一 殿 | 21. 田 辺 政 雄 殿 | 34. 三 橋 栄 一 殿 |
| 9. 武 藤 奏 典 殿 | 22. 富 永 力 殿 | 35. 幸 内 伸 雄 殿 |
| 10. 岩 岡 正 殿 | 23. 中 山 礼 子 殿 | 36. 田 沼 文 衛 殿 |
| 11. 石 川 治 道 殿 | 24. 田 辺 しげ子 殿 | 37. 遠 藤 真 作 殿 |
| 12. 寺 崎 誠 三 殿 | 25. 戸 田 裕 也 殿 | |
| 13. 長 瀬 正 作 殿 | 26. 古 谷 英太郎 殿 | |

◎準フェロー（敬称略）

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 遠 藤 一 典 | 11. 森 実 | 21. 内 野 晃(2回目) |
| 2. 堀 井 基 章 | 12. 森 善 助(2回目) | 22. 中 林 靖(2回目) |
| 3. 飯 田 重 雄 | 13. 長 沼 博 | 23. 松 尾 一 伸 |
| 4. 井 上 周 輔 | 14. 二 宮 浩 | 24. 夏 目 一 夫 |
| 5. 上 林 正 勝 | 15. 関 口 将 実 | 25. 渡 辺 宏 未(2回目) |
| 6. 小 林 新 一 | 16. 田 中 克 己 | 26. 藤 津 均 |
| 7. 小 林 敬 | 17. 田 中 亮 二 | 27. 伊 藤 通 宏 |
| 8. 小 杉 隆 | 18. 渡 辺 清 | 28. 斉 藤 清 紀 |
| 9. 黒 沼 正 雄 | 19. 代々木 和 男(2回目) | 29. 堀 賀 雄 |
| 10. 三 澤 君 夫(2回目) | 20. 市 瀬 栄 一 | |

会 員 外

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 遠 藤 登貴子 殿 | 4. 内 野 陽 子 殿 |
| 2. 中 林 順 子 殿 | 5. 山 下 百合子 殿 |
| 3. 岡 本 トモエ 殿 | |

創立～1993年6月末R財団寄付

累 計 119,770ドル

内本年度分 7,400ドル

ポリオプラス 1991年6月で結末

米山奨学委員会報告

委員長 金子朝夫
副委員長 矢島誠治
委員 堀井基章

活動計画書に基き米山奨学事業に対する、認識と理解をお願い致しました。

今期（1992～1993）

普通寄付金	164,500円	会員一名当り3,500円
特別寄付金	430,000円	
計	594,500円	

今期功労者は1名

創立～1993年累計

普通寄付金	2,673,000円
特別寄付金	14,356,000円
計	17,029,000円

◎米山功労者

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| 1. 土志田 猛 | 5. 森 善 助 (2口) | 9. 代々木 和 男 |
| 2. 飯 田 重 男 | 6. 高 嶋 経 保 | 10. 金 子 朝 夫 |
| 3. 小 林 安 雄 | 7. 内 野 晃 | 11. 松 田 税 |
| 4. 三 澤 君 夫 | 8. 鶴 川 昇 | 12. 近 藤 襄 |

(敬称略)

会 員 外

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1. 秋 田 茂 殿 | 5. 田 辺 政 雄 殿 | 9. 城 田 昭 次 殿 |
| 2. 岩 岡 正 殿 | 6. 和 田 功 殿 | 10. 幸 内 伸 雄 殿 |
| 3. 武 藤 松 一 殿 | 7. 富 永 力 殿 | |
| 4. 長 瀬 正 作 殿 | 8. 飯 塚 金次郎 殿 | |

◎米山準功労者

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 遠藤真作 | 12. 島田幸夫 | 23. 田中亮二 |
| 2. 日高信良 | 13. 田中克己 | 24. 内野晃(2回目) |
| 3. 小林新一 | 14. 田沼文衛 | 25. 遠藤一典 |
| 4. 小林敬 | 15. 渡辺宏未 | 26. 市瀬栄一 |
| 5. 小杉隆 | 16. 藪島五郎 | 27. 脇田幸一 |
| 6. 三澤君夫(2回目) | 17. 矢島誠治 | 28. 藤津均 |
| 7. 森善助(3回目) | 18. 山下栄蔵 | 29. 井上周輔 |
| 8. 名倉健二 | 19. 横井好明 | 30. 加藤喜夫 |
| 9. 中林靖 | 20. 長沼博 | 31. 森実 |
| 10. 岡本健 | 21. 関口将実 | 32. 夏目一夫 |
| 11. 斎藤宏一 | 22. 高嶋経保(2回目) | 33. 斉藤清紀 |

(敬称略)

会 員 外

1. 小林ハマ子 殿
2. 内野陽子 殿

- 1) 普通寄付金の1人当り拠出5,000円の早期実現について、クラブの課題として考えて頂きたい。
- 2) 特別寄付金について、ご協力有難うございました。

会 計 報 告 書

(1992～1993年度)

会 計 長 沼 博

1. 一 般 会 計

[収入の部]

科 目	実 績	備 考
年 会 費	9,344,400	260,000×78%×46名+15,600
入 会 金	0	
雑 収 入	129,573	
繰 越 金	319,301	
収 入 合 計	9,793,274	

[支出の部]

科 目	実 績	備 考
本 部 関 係	R C 基 金	190,298
	地 区 分 担 金	1,137,000
	地区大会分担金	625,000
	I M	315,000
	地 区 協 議 会	166,000
	米 山 奨 学	161,000
	予 備 費	114,268
	合 計	2,708,566 (1)
総 務 関 係	例 会 費	442,968
	記 念 品	906,630
	通 信 費	152,920
	消 耗 品	118,524
	印 刷 費	1,193,184
	事 務 委 託 費	1,568,000
	備 品 費	203,009
	交 際 費	389,227
	雑 誌 文 献 費	164,933
	慶 弔 費	87,250
	雑 費	28,880
	合 計	5,255,525 (2)

科 目		実 績	備 考
委 員 会 関 係	出 席	6,000	
	職 業 分 類	0	
	親 睦	780,530	
	雑 誌	0	
	会 報	1,241,708	
	会 員 選 考	0	
	会 員 増 強	0	
	プログラム	215,000	
	R 情 報	0	
	S A A	188,958	
	広 報	41,200	
	雑 費		
	合 計	2,473,396	(3)
一 般 会 計 合 計		10,437,487	(1)+(2)+(3)

2. 特 別 会 計 (食事の部)

〔収入の部〕

科 目	実 績	備 考
年 会 費	2,635,600	$260,000 \times 22\% \times 46\text{名} + 4,400$
ビジター登録料	125,000	
繰 越 金	500	
合 計	2,761,100	

〔支出の部〕

科 目	実 績	備 考
例 会 食 事 代	2,880,000	
雑 費	0	
合 計	2,880,000	

3. 特 別 会 計 (奉仕の部)

〔収入の部〕

科 目	実 績	備 考
ス マ イ ル	2, 536, 500	
奨学生受入収入	500, 000	
前 期 繰 越 金	444, 906	
合 計	3, 481, 406	

〔支出の部〕

科 目	実 績	備 考
職 業 奉 仕	1, 800	
社 会 奉 仕	263, 000	
青 少 年	215, 176	
インターアクト	268, 500	
ローターアクト	229, 000	
国 際 奉 仕	386, 255	
世界社会奉仕	0	
ロータリー財団	92, 000	
奨学生受入支出	727, 906	
交通安全塔負担金	1, 009, 580	
合 計	3, 193, 217	

集 計 表

区 分	収 入		支 出	
一 般 会 計	年 会 費	9,344,400	本 部 関 係	2,708,566
	そ の 他 収 入	129,573	総 務 関 係	5,255,525
	繰 越 金	319,301	委 員 会 関 係	2,473,396
	計	9,793,274	計	10,437,487
特 別 会 計	年 会 費	2,635,600	例 会 食 事 費	2,880,000
	ビジター登録料	125,500	雑 費	0
	計	2,761,100	計	2,880,000
	スマイル他	3,036,500	奉 仕 関 係	1,455,731
	繰 越 金	444,906	奨 学 生 関 係	1,737,486
	計	3,481,406	計	3,193,217
総 合 計	収 入 合 計	16,035,780	支 出 合 計	16,510,704
			剰 余 金	△474,924

貸借対照表

資 産 の 部		負 債 の 部	
現 金	35,000	未 払 金	1,502,200
預 金	1,156,856	預 り 金	90,000
未 収 入 金	869,500	スマイル仮受金	944,080
資 産 計	2,061,356	負 債 計	2,536,280
		剰 余 金	△474,924

横浜緑ロータリークラブ組織表

1992年～1993年度(平成4年～5年度)

1. 理事 遠藤 真作 小杉 隆 島田 幸夫 横井 好明
渡辺 宏未 小林 敬 名倉 健二
2. 役員 会長 遠藤 真作 会長以外 横井 好明
幹事 日高 信良 副幹事 高嶋 経保
SAA 井上 周輔 副SAA 松尾 一伸 副SAA 藤津 均
会計 長沼 博 副会計 伊藤 通宏
3. 委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)
- A. クラブ奉仕委員会(担当理事)◎渡辺 宏未 ○横井 好明 代々木 和男
1. 出席委員会 ◎中林 靖 ○夏目 一夫 小林 敬
2. 職業分類委員会 ◎岡本 健 中林 靖 山下 栄蔵
3. 親睦委員会 ◎脇田 幸一 ○土志田 猛 黒沼 正雄 松尾 一伸
藤津 均 高嶋 経保 関口 将実
4. 雑誌委員会 ◎遠藤 一典 ○会田 瞭三 関口 将実
5. 会報委員会 ◎飯田 重雄 ○黒沼 正雄 夏目 一夫
6. 会員選考委員会 ◎幸内 伸雄 ○藪島 五郎 内野 晃 鶴川 昇
7. 会員増強委員会 ◎森 善助 ○三沢 君夫 小林 安雄 代々木 和男
8. プログラム委員会 ◎森 実 ○小林 新一 加藤 喜夫 矢島 誠治
9. ロータリー情報委員会 ◎近藤 襄 ○田沼 文衛 幸内 伸雄
10. 広報委員会 ◎松尾 一伸 ○田沼 文衛 代々木 和男
- B. 社会奉仕委員会(担当理事) ◎島田 幸夫 ○森 善助 小林 新一
斉藤 宏一
- C. 青少年奉仕委員会(担当理事)◎小林 敬 ○藪島 五郎 田沼 文衛
1. 青少年委員会 ◎市瀬 栄一 ○矢島 誠治 中林 靖
2. インターアクト委員会 ◎黒沼 正雄 ○井上 周輔
3. ローターアクト委員会 ◎田中 亮二 ○関口 将実 松田 税
- D. 職業奉仕委員会(担当理事) ◎名倉 健二 ○会田 瞭三 夏目 一夫
- E. 国際奉仕委員会(担当理事) ◎小杉 隆 ○高嶋 経保 脇田 幸一
1. 世界社会奉仕委員会 ◎松田 税 ○三沢 君夫
2. ロータリー財団委員会 ◎田中 克己 ○小杉 隆
3. 米山奨学委員会 ◎金子 朝夫 ○矢島 誠治 堀井 基章

備 品 目 録

品 名	数 量	品 名	数 量
ローターリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	21
クラブ旗	2	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ビン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンプ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナプキン立て	6
レコード・プレイヤー	1	調味料入れセット	6
レコード (ロータリー・ソング)		クラブ小旗 (さお共)	10
ワイヤレス・マイク	3	クラブ印 (角)	1
会員個人別ボックス	2	クラブ会計印	1
書 庫	2	書類棚 (90W × H180)	2
バナー掛 (各クラブのバナー共)	2	冷 蔵 庫ナショナルNRB8M3	1
バナー立て	13	スマイル・レポート入れ	12
タ ス キ	11	スイス・カウベル	1
パ ネ ル	19	漆谷 RC から点鐘台 (大邸松林 RC)	1
カ メ ラ	1	“ 記念楯	1
黒 板	1	RICOPY FT4060	1
アクリル名札板	1	電気ポット	1
FAX MURATA F-24	1	2穴スクリーパンチ	1
	1	事務用回転椅子	1
応接セット5点	1		

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

正 会 員 (ACTIVE)

平成5年6月30日現在

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
医 術	内 科 医			
	循 環 器 科 医			
	外 科 医			
	小 児 科 医			
	産 婦 人 科 医			
	歯 科 医	島 田 幸 夫	島田歯科医院	院 長
	口 腔 外 科 医	田 中 亮 二	田中歯科医院	院 長
	整 形 外 科 医			
	耳 鼻 咽 喉 科 医			
	眼 科 医	藤 津 均	フジ眼科歯科クリニック	院 長
	歯 科 矯 正 医	加 藤 喜 夫	愛誠歯科医院	院 長
	麻 酔 科 医	夏 目 一 夫	夏目クリニック	院 長
	病 院			
	施 設 及 び 病 院			
教 育	専 門 病 院	脇 田 幸 一	脇田産婦人科医院	院 長
	高 等 学 校			
	幼 稚 園			
	私 塾			
	短 期 大 学	堀 井 基 章	堀井学園	高校短大理事長
ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス	弁 護 士			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
ビジネスサービス	税 理 士	長 沼 博	長沼博税理事務所	所 長
	経 営 相 談			
	司 法 書 士			
	行 政 書 士			
宗 教	仏 教	斉 藤 清 紀	福聚院	副 住 職
	神 道			
機械及び装置	建 設 機 械			
	履 帯			
金 属 加 工 業	板 金 工 作			
	金 型 製 造			
	自 動 車 販 売			
自 動 車 工 業	自 動 車 修 理	小 林 敬	(株)プラザ・モーター	代 表 取 締 役
	電 気 設 備 工 事	村 松 勇 治	(株)ジェス	代 表 取 締 役
電 気 及 び 電 子 工 業	電 気 器 具 製 造			
	測 量			
技 術	物 療 科 医			
物 理 療 法	ビニール高周波加工			
	金 型 製 造			
印刷及び出版	書 籍 販 売			
	石 油 製 品	松 田 税	不動燃料工業(株)	代 表 取 締 役 社 長
鉱 油 工 業	ガ ソ リ ン 販 売			

職 業 分 類			会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類	類			
銃器及び火薬 通信事業	銃器	Fire Arms			
	電話事業	Telephone Service	堀 賀 雄	N.T.T.中山支店	支 店 長
	情報通信	Information			
建設業	建築請負業	General Contracting	渡 辺 宏 未	(株)渡辺工務店	代表取締役
	建築設計	Architect	井 上 周 輔	誠和技建工業(株)	代表取締役
	木造建築	Wooden Building Construction	小 杉 隆	太陽建設(株)	代表取締役
	ビル建築	Building Construction	金子 朝 夫	工藤建設(株)	常務取締役
	土木工事	Public Works			
	舗装工事	Pave Construction			
建築材料資材	建築リフォーム	Reform ot Building	市 瀬 栄 一	(株)不二建	代表取締役
	建築材料	Building Material	黒 沼 正 雄	黒沼木材(株)	代表取締役
	アスファルト製品	Asphalt Products			
	生コン配布	Concrete Distributing			
	設備工事	Equipment Construction	関 口 将 実	(株)関口金物	専務取締役
	室内装飾用品	Upholstering			
不動産	不動産業	Real Estate Agency	土 志 田 猛	(株)岩本不動産商会	代表取締役
	ビル賃貸	Building Renting	遠 藤 一 典	藤パークビル(株)	代表取締役
	貸スタディオ	Renting Studio			
	土地賃貸	Proprietary Renting	斎 藤 宏 一	斎藤興業開発(株)	取締役社長
輸送	貨物自動車輸送	Trucking Service			
	旅行幹旋	Tourist Agency			

職 業 分 類			会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分	類			
衣	料 綿 製 品	Cotton Goods			
農 業 及 び 園 芸	農 業	Agriculture			
畜 産 業	飼 料	Feeds			
	獣 医	Veterinary Surgeon			
林 業	木 材 販 売	Lumber Dist	小 林 新 一	小林建設林産(株)	代 表 取 締 役
食 品	酒 精 飲 料	Alcoholic Beverage			
	食 品 輸 出 入	Food Importing & Exporting			
	給 食	Supply of Food			
	都 市 銀 行	City Banking	会 田 瞭 三	さくら銀行青葉台支店	支 店 長
金 融	地 方 銀 行	Local Banking	伊 藤 通 宏	横浜銀行中山支店	支 店 長
	外 国 為 替 銀 行	Foreign Exchange Banking			
	信 用 金 庫	Credit Banking			
	広 告 業	Advertisement			
印 刷 及 び 広 告	印 刷	Printing	飯 田 重 雄	飯田印刷(株)	代 表 取 締 役
	看 板 広 告	Advertising Service	高 嶋 経 保	横浜標識(株)	代 表 取 締 役
	活 版 印 刷	Letterpress	田 中 克 己	日本ビジネス・フォーム(株)	代 表 取 締 役
	新 聞	News Paper.	森 實	日経総合印刷(株)	取 締 役 相 談 役
美 容	理 容	Barber			
	美 容 院	Beauty Shop			
ホ テ ル	料 理 店 (和 食)	Restaurant (Japanese style)	日 高 信 良	(株)オータス (浜太郎)	代 表 取 締 役
	ホ テ ル	Hotel			

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
板 金 工 作	Sheet Metal Working	小 林 安 雄	(株)小富士産業	取締役社長
高 等 学 校	Senior High School	鶴 川 昇	桐蔭学園	理 事 長
履 帯	Caterpillar	名 倉 健 二	(株)東京リンク製作所	相 談 役
不 動 産 賃 貸	Real Estate Renting	森 善 助		
ボ ー リ ン グ 場	Bowling	三 澤 君 夫	三澤合資会社	代 表 者
銃 器	Fire Arms	岡 本 健	ミロク機械(株)	代表取締役
建 設 機 械	Construction Machinery	山 下 米 蔵	山下工業(株)	取締役社長
外 科 医	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長
電 機 器 具 製 造	Electric Appliance Mfg	藪 島 五 郎		
建 築 材 料	Building Material	代々木 和 男	(有)代々木商店	取締役社長
アスファルト製品	Asphalt Products	中 林 靖	日本舗材(株)	取締役会長
ビ ル 賃 貸	Building Renting	矢 島 誠 治	(株)矢島ビルディング	取 締 役
情 報 通 信	Information	横 井 好 明	横井通信工業(株)	代表取締役
産 婦 人 科 医	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 襄	近藤病院	院 長

開 放 82 充 填 31
未 充 填 51
シニアアクティブ会員 14

